

南相馬市設置条例等の一部を改正する条例制定について

南相馬市復興総合計画後期基本計画を着実に遂行できる組織体制の構築を目的とした組織機構改革を平成31年4月1日付で実施するため、必要な改正を行うもの。

新たに「こども未来部」を設置

討論

【反対討論】 自治区の権限を縮小するものであり、合併協定を反故するものである。市民の理解を得て丁寧に説明することが不可欠であり、単なる組織機構の見直しのようによって、合併時の約束を変更することを行ってほならない。

【賛成討論】 仕事を執行部が市長以下、それぞれの専門機関等々含めて結果の出せる体制を構築したということで、今回の部設置条例に賛成をさせていただきたい。賛成多数で可決。

平成31年2月臨時会で意見が分かれた議案

Table with columns for member names and voting results for various bills.

平成30年度3月補正予算

606億円(41億円減)

補正額40億9,652万円を減額し、補正後の一般会計歳入歳出総額が606億4,962万4千円となった。

一般質問 一問一答



栗村 文夫 議員

南相馬市地域防災計画の中でも、火災警報器の普及に努めると記載されている。設置向上に向けて市としてどのような施策を行うのか伺う。

相馬地方広域市町村圏組合が条例に基づき個別家庭訪問やJAMAFF等での普及の推進を図っております。市では組合と連携して啓発チラシの配布等を行ってまいりました。今後も継続して住宅用火災警報器の普及に努めてまいります。

冬の乾燥した時期は火事が起こりやすく、今年は風が強い日が続いたりもしている。特に市街地では延焼の心配もある。市営住宅への火災警報器の設置や防火対策はどのようにとられているのか伺う。

火災警報器の設置率向上を!



住宅用火災警報器

市営住宅では住宅用火災警報器を平成19年と20年度に全ての住宅に対して設置しております。また火災警報器の電池が約10年で寿命を迎えることから、平成29年度と30年度にかけて機器の更新をしております。

小野町では火災警報器未設置世帯への設置費用の助成を決定した。火災警報器の設置費用の助成について市としての考えを伺う。

本市では、市県民税が非課税である高齢者のみの世帯で住宅を所有し居住している方へ火災警報器の給付をしている。今後とも相馬地方広域市町村圏組合と設置の促進の対策を協議するとともに検討していく考えです。

降雪時の対応体制について

市職員の人材確保について



鈴木 貞正 議員

農業問題対策や改善について

本市の基幹産業は、農業であります。農業の振興なくしては本市の発展はあり得ない。今後地域における災害からの復興再生に関しては特に営農再開に向け除染の進捗状況に合わせた農業関連のインフラ復旧、除染後の農地の保全管理あるいは作付実施の大規模化や施設園芸の導入等の新たな農業の転換、放射性物質の抑制対策、ため池等の放射性物質対策等一連の取り組みなど切れ目ない支援。未来に向けた農業対策は何か足りなくてどんな対策や改善が必要なのか伺う。



ほ場整備事業(八沢地区内)

農業用ドローン機材購入者に補助金などについて伺う。

農業用ドローン機材購入者に補助金などについて伺う。農業者やメーカー等と連携をしまして、ドローンによる作物の育成管理や農薬散布など

質問を終えて: 現代の農業問題は食料である。農産物を生産する農業という観点からすべての人の課題である。

ど新技术を活用したスマート農業の実証事業実施について支援をしてきた。農業分野における新技术の活用は、農作業の省力化や効率化に有効であると考えられる。補助金申請があり購入費等66万5千820円支出している。



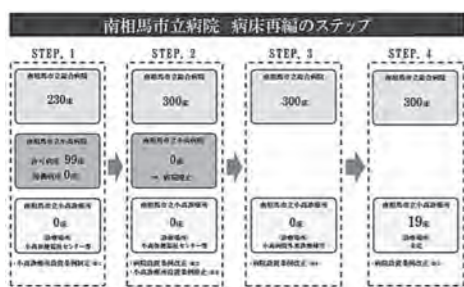
岡崎 義典 議員

公約に振り回される小高の医療

小高の有床診療所の実現可能性をどのように捉えているのか。医師・看護師等の確保、財政負担の明確化と縮小、介護サービス等の機能も担える施設としての活用の3点。有床診療所の運営に向けた大きな課題があると認識している。

検討を始めて1年以上経つが何の進展もなく、常勤医が退職届を出したという大きなマイナスイメージ。小高の医療における将来の方向性を示すことができたことが一つの成果。

改革プランは平成29年度から32年度までの計画だが、期間内に有床診療所を整備するのか。3つの課題について解決を図った上で有床診療所化を目指す。



質問を終えて: 小高病院の常勤医が退職をかけてまで伝えたかったことはしっかり受け取りました。

これまで1年間ずっと一般質問で取り上げてきて、現実的に今は困難ではないかと質問した際にも、「あくまで入院機能再開することを基本として考えていく」という一点張りだった。なのに、今回は遠ざかった方向に進んでいる上に、外来を充実させた新たな無床の診療所の整備に関しては一

小高病院常勤医の退職について

小高病院本館の解体について

総合病院の大規模改修の遅れについて